

ダイヤモンドクラブさんから  
寄付金をいただきました

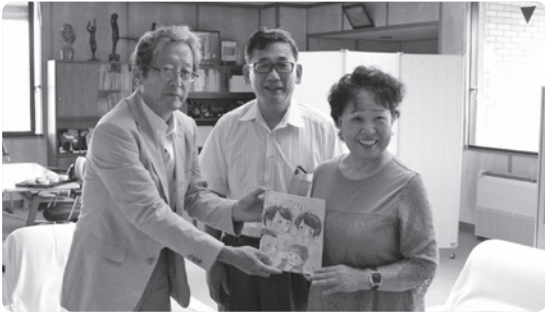


ダイヤモンドクラブ  
(原田正美代表)から、  
第25回チャリティー歌・踊  
りの祭典を開催された際  
の募金121,938円  
を町に寄付していただき  
ました。  
町の自治振興のため、  
有効に使わせていただき  
ます。ありがとうございました。

NPO法人「甲賀文化輝き」さんより  
絵本をいただきました

NPO法人「甲賀文化輝  
き」(松島津由子代表)から、  
絵本「青い目の人形 甲南の  
メリーさん」を寄贈して  
いただきました。

日野小学校には、高齢者  
が親しんだ青い目の人形が  
保存展示されており、施設  
利用者に絵本を見て懐かし  
んでいたどころと、町内の  
高齢者福祉施設に寄贈して  
いただきました。ありがと  
うございました。



▲日野町社会福祉施設等連絡協議会 河合隆会長(左)と  
NPO法人 甲賀文化 輝き 松島津由子代表(右)

滋賀県電気工事工業組合  
LED強力ライトセットをいただきました

滋賀県電気工事工業組合  
(鹿野敏夫理事長)から、L  
ED強力ライトセット40組  
を寄贈していただきました。  
町の防災対策のため、町  
内の収容施設を中心に有効  
に使用させていただきます。  
ありがとうございました。



▲滋賀県電気工事工業組合水口支部  
西谷敏雄支部長(中央)

日野町建築組合の皆さんが  
遊具を作製してくださいました

日野町建築組合(藤田喜久  
治代表)の皆さんは、職人の  
技をいかして毎年小学校や  
幼稚園にさまざまなボラン  
ティア活動をしていただい  
ています。

今年には桜谷幼稚園の遊び  
小屋を新たに作製してい  
ただきました。日野町建築組  
合の皆さん、ありがとうございました。



## 第6回 議会報告会 開催のお知らせ～町民の皆さまとの意見交換会～

議会や町政に対する町民の皆さまのご意見を議員にお聞かせ  
ください。意見交換のテーマとして、人口減少対策、地域経済対  
策、子育て支援等を予定しています。ご都合の良い会場へ、お気  
軽にお越しください。多くの方のご参加をお待ちしています。

主催:日野町議会

開催日	会場	時間
10月13日 (木)	必佐公民館	午後7:30 ～9:30
10月14日 (金)	西大路公民館	

問い合わせ先 ◆ 議会事務局 ☎0748-52-6551 FAX 0748-52-2044

日野町におられる医師・歯科医師・薬剤師などの方が町民の皆さんへ  
医療や公衆衛生の面からアドバイスいただくシリーズです

## スマホの使いすぎにご注意

あいさか小児科 医師 相坂 明さん

51万3千人、厚生労働省の調査で明らかになった中高生のネット依存と推計される人数です。これは中高生全体の実に8%におよびます。私たちはインターネットの普及により、生活の中で様々な恩恵を享受しています。ただし、その恩恵と同時に今までになかった弊害も現れるようになりました。たとえば、昨今の少年事件の背景にネット、LINEをはじめとするSNSによるいじめ、トラブルなどが大きく関与していることは皆さんご承知のとおりだと思います。

ネットに書き込まれた情報は完全に削除することが困難で、知らないうちに拡散し、削除・訂正することが困難です。軽い気持ちで書き込んだことや、グループ限定で公開したことが拡散して思わぬトラブルに発展することがあります。またLINEなどで際限なく繋がった結果、友人関係を維持できない状況の中で極度の不安にさいなまれたり、仲間からの孤立を避けるために常時スマホを離せず、結果として日常生活の乱れ、学業不振などに

陥るケースも発生しています。ネット依存に陥ると危険薬物依存と同じように脳内ホルモンに異常が起こり、脳組織そのものに損傷が起きてしまうこともあるのです。

子ども達はいつかネットやスマホを使う時期が来ます。私たちはスマホやネットが使い方によっては危険薬物のように健康被害を起こすことをしっかりと認識し、放任、黙認にならないようにして、子どもの健康を守らなければなりません。具体的には夜間は使用しない、有害サイトへのアクセス制限、通信内容を親が確認する等のルールを決め、守らせるようにすることです。教育の場面でもネット依存症や個人情報保護に関する教育をしっかりと行うことが必要です。保護者世代の私たちも、子どもの手本となるように、スマホを使用しなければなりません。子育てにしても、成長してからの人間関係にしても、バーチャルよりリアルに勝るものはないということですね。



あいさか小児科 日野町松尾2丁目88-7 ☎0748-53-8139

## 感雑向綿

2016年10月

日野町長 藤澤 直 広

リオデジャネイロオリンピッククにつづいて、パラリンピックが盛大に開催されました。男子1,500メートル走では優勝記録がオリンピックを上回りました(オリンピックの1,500メートル走は、記録よりも勝敗を優先したところによるとの報道がありました)。車椅子の競走やバスケット、テニス、ラクビーなど上半身が鍛えられています。その鍛錬はとても苦勞があるので、はと思いましたが、どの種目も本当に感服します。勝利を指し一途に競技に取り組む姿は眩しく輝いています。

ところで、滋賀県立近江学園の初代園長で障害者福祉の第一人者糸賀一雄氏の言葉に「この子らを世の光に」があります。「この子らに世の光を」ではありません。「障害児に光をあてる施策を」ということではなく、「障害児が自ら輝く」という思いが込められていると思います。

日野町の障害者福祉の大きな役割を果たしていただいているのが「わたむきの里」です。100人以上の皆さんが作業所でいろいろな仕事を

されています。家を整理したときでくる古紙、空き缶、ペットボトルなどを引き取っていたり、リサイクルセンター「エコドーム」、美味しいお菓子「ラスク」、農作業をはじめ種々の事業を展開されています。また、障害のある方が生活されるグループホームも4か所運営いただいています。養護学校や施設を「卒業」され地域に帰ってこられる方を日野町で暮らせるよう全力で取り組んでいただいています。

今年も10月16日(日)に「わたむきの里まつり」が開催されます。町民の皆さんから寄せられた物品でのチャリティバザーは毎年盛況です。ステージでの催しや模擬店も多彩で楽しみです。町民の皆さんの協力と地域に開かれた施設運営、職員の皆さんの奮闘によって日野の福祉を支え活動いただいていることはありがたいことです。

福祉・介護・保育の職場は人材の確保が大変です。人が人を支える仕事がつかりと機能する社会をつくるために力を合わせましょう。